

第65回北海道高等学校バスケットボール選手権大会

大会展望

6月22日から24日にかけて室蘭市にて開催される。参加は男子28、女子23、合計51チーム。メイン会場は室蘭市体育館。

男子の優勝候補筆頭は第1シードの札幌日大。11月のウィンターカップ、2月の新人戦で優勝、今回はどのような戦い方をするのかに興味が集まる。同ブロックでは昨年度優勝校の帯広白樺学園、函大有斗を中心に札幌日大への挑戦権をかけての争いとなりそう。第2シードの恵庭南高校は激戦の札幌予選で春季大会で優勝、今大会予選と2大会連続で決勝に進出するなどチームは上り調子。恵庭南が順当に勝ち上がると、ブロック決勝では全道新人準優勝の札幌工業との対戦が予想される。札幌予選では準決勝で恵庭南が札幌工業を下しており、札幌工業としては何とかリベンジを果たしたいところだ。第3シードの東海大四は札幌予選を3位で通過。地区の春季大会では札幌日大を破って2位となり、決勝リーグ進出は間違いがなさそう。駒大苫小牧、旭川大学高校、帯広工業などの常連校がどこまで東海大四に迫ることができるかに注目したい。第4シードの釧路北陽がいるブロックは激戦が予想される。釧路北陽の逆サイドには激戦の旭川予選を1位で通過した旭川工業、試合巧者の札幌月寒がブロック決勝進出を目指す。釧路北陽と2回戦での対戦が予想される当番校の海星学院も打倒シード校を狙っており、好ゲームが期待される。

女子は、札幌1位の第1シード札幌創成、ウィンターカップ連覇の第2シード札幌山の手の2校が優勝争いの中心。札幌予選を制した札幌創成が悲願の初優勝を遂げるか、やはり山の手が連覇を続けるのかに非常に注目が集まる所。

第1シードの札幌創成はブロック決勝へは順当に進出しそう。逆サイドからは旭川1位の旭川明成と札幌4位のとわの森三愛の勝者が進出してくるであろう。第2シードの札幌山の手のブロックには函大柏稜、旭川藤、帯広南商業といった各地区の強豪校がひしめき激戦が予想される。山の手が有利には間違いがないが、厳しい戦いが予想される。第3シードは帯広で念願の優勝を遂げた帯広大谷。ブロック決勝の相手は、当番校の海星学院が予想される。海星学院は近年全道で常に上位におり、地元開催の利を生かし決勝リーグ進出を目指したい。第4シード札幌東商業は札幌3位での出場。札幌予選では終盤まで山の手と接戦を演じるなど決勝リーグへ進出する力は十分にある。2回戦で対戦が予想される函館1位の古豪、函館大妻との試合をどう戦うかに注目が集まる。何とか波に乗りインターハイ出場を目指したい。

平成24年6月11日
北海道バスケットボール協会
強化委員会